

令和 5 年度 上 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

●施設の概要

施設名	加納児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市加納高柳町1丁目1番地 岐阜市立加納西小学校 敷地内		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	16,355,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,008.00㎡ ◇延床面積:348.27㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、静養室、会議室、事務室		

●利用状況

		R5上半期	R4下半期	R4上半期	R3下半期	R3上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	7,714	6,286	5,911	4,374	2,582
	移動児童館利用者数	214	393	215	131	243
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※7(5)	※13(11)	※10(8)	※4(2)	※5(3)
	開館日数(単位:日)	155	151	155	151	94

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①計画どおり実施 ②所長(常勤職員)、常勤職員1人(9月に限り2名)、非常勤職員4人の合計6人配置(保育士資格は5人、児童厚生員資格は所長を含め3人、教員資格は1人) ③引き続き児童センターのおたより「はみんぐ」を、乳幼児用と児童用の2部を毎月発行・配布。【加納西校区自治会回覧・小学校(5校)・聾学校・中学校(1校)・幼稚園・認定こども園(3園)・公民館(4館)・南部コミュニティセンター・ドリームシアター岐阜・南市民健康センター・加納西郵便局・放課後児童クラブ(4クラブ)】おたより「はみんぐ」は和光会ホームページにも掲載している。なお同様に母親クラブのおたよりも和光会ホームページに掲載している。 行事終了後は、和光会ホームページに記事を掲載した。 また、母親クラブ主催の『音楽まつり』は和光会ホームページと併せて、和光会職員向けのサイトにも掲載し、より周知を図った。 ④常時、ご意見箱を設置するとともに、利用者には、手配りアンケートを実施し、素早い問題の解決に努めた。 来館・退館時に声をかけ話しやすい雰囲気づくりを心掛けた。アンケート結果は幼児室と図書学習室に掲示した。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施 ②利用者が帰られる度におもちゃ等の消毒、及び破損等の点検をした。消毒はアルコール、次亜塩素酸ナトリウムの希釈液、オゾン式保管庫を適宜使用した。 週2回、就労促進事業清掃班による清掃が行われている。館周辺の除草、木の剪定、清掃等を毎朝行い、快適に利用していただけるよう努めた。 ③効率的かつ効果的な感染予防対策を怠らないよう配慮した。具体的には遊戯室のガラスに遮光ネットを貼付し、サーキュレーターで空気を循環させる、夜間電力で作られた氷で除湿、冷房の設定温度を一定にする等である。 ④専門業者による遊具点検を、年2回実施した。 破損したおもちゃは月1回開催されるおもちゃ病院の職員に相談し、修理することで安全に使用できるものに関しては修理を依頼し、大切に使用している。また、施設修理等は指定管理者(本部)または、法人統括事業所長に修理依頼して施設の維持管理に努めた。施設警備業務は日本ガード株式会社が安全維持管理し随時巡回点検を行い、異常箇所の有無確認をしている。破損劣化した備品については適切な手順で処分した。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①ヒヤリハット報告書を記入する事で、日頃から職員が小さな気づきを意識した。全職員が意識することで危険な箇所を点検し、速やかに修繕を実施した。 ②修繕については指定管理者(和光会本部)の営繕職員等と一緒にいき、安全に利用できるよう努めた。
危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③のすべてにおいて、岐阜市と法人本部が作成したマニュアル等に沿って実施した。(全職員で、育成研修課からの年間研修計画書に沿って、個人情報・コンプライアンスなどの研修を行った)また、法人内のリスクマネジメント研修に参加し他の職員に伝達講習を行うことで職員間の認識強化を図った。ヒヤリハット報告書記入を強化し周知することで事前の事故や苦情の防止に努めた。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート> 期間: 令和5年7月6日～令和5年7月28日 回答者数: 50人</p> <p><小・中・高校生用アンケート> 期間: 令和5年7月4日～令和5年7月15日 回答者数: 60人(小学: 1年1人、2年7人、3年12人、4年19人、5年2人、6年14人) (中学: 1年1人、2年0人、3年4人)(高校: 1年0人、2年0人、3年0人)</p>
利用者アンケートの実施結果	<p><保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート></p> <p>【校区】 加納西(14人)、三里(10人)、茜部(6人)、加納東(5人)、長森南(3人)、本庄(2人)、徹明さくら(2人)、白山(2人)、その他市内(6人)</p> <p>【年齢】 10代(0%)、20代(14%)、30代(74%)、40代(12%)、50代以上(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(4%)、ほぼ毎日(4%)、週2～3回(12%)、週1回(30%)、2週に1回(24%)、月1回(18%)、その他(8%)</p> <p>【来館相手】 子(96%)、孫(0%)、友人(2%)、その他(2%)</p> <p>【子・孫の年齢】 0歳(21%)、1歳(40%)、2歳(35%)、3歳以上(4%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(31%)、自転車(7%)、自家用車(58%)、公共交通機関(4%)、その他(0%)</p> <p>【何で知った】 ホームページ(50%)、広報紙・チラシ(4%)、学校(2%)、保育所・幼稚園(0%)、知人・友人(14%)、ぎふし子育て応援アプリ(14%)、ソーシャルメディア(0%)、その他(16%)</p> <p>【評価】</p> <p>(あいさつ) 満足(94%)、ほぼ満足(4%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(言葉づかい) 満足(96%)、ほぼ満足(2%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(利用者対応) 満足(94%)、ほぼ満足(2%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)、無回答(2%)</p> <p>(利用しやすさ) 満足(66%)、ほぼ満足(26%)、普通(4%)、やや不満(4%)、不満(0%)</p> <p>(整理整頓) 満足(96%)、ほぼ満足(2%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(清潔感) 満足(86%)、ほぼ満足(10%)、普通(4%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p> <p>(換気) 満足(90%)、ほぼ満足(8%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)</p>

	<p><小・中・高校生用アンケート></p> <p>【学校名】 加納西小(48人)、陽南中(5人)、附属小(6人)、その他市内(1人)</p> <p>【学年】 小学: 1年(2%)、2年(12%)、3年(20%)、4年(32%)、5年(3%)、6年(23%) 中学: 1年(2%)、2年(0%)、3年(6%) 高校: 1年(0%)、2年(0%)、3年(0%)</p> <p>【利用頻度】 初めて(3%)、毎日(6%)、週4・5回(17%)、週2・3回(27%)、週1回(27%)、その他(20%)</p> <p>【来館相手】 ひとり(16%)、友人(64%)、兄弟姉妹(8%)、父母(11%)、祖父母(1%)、親戚(0%)、その他(0%)</p> <p>【来館方法】 徒歩(36%)、自転車(48%)、自家用車(13%)、バス・電車(0%)、その他(3%)</p> <p>【好きな遊び】 ドッジボール(29%)、カラム(20%)、卓球(13%)、オセロ(12%)、カードゲーム(11%)、けん玉(5%)、その他(10%)</p>
<p>利用者からの 要望・苦情と 対処・改善</p>	<p><保護者></p> <p>○体を動かせる遊具が欲しい。 ・限られた場所に0歳から18歳の子どもたちが遊べる遊具や玩具を置くために様々な工夫をさせていただいております。その一方で、全ての年齢の方が望まれる環境にはなかなかできない現状もあります。鉄棒や室内用滑り台は当児童センターにありますが、上記のような理由で他のご希望全てにお応えすることは難しいです。具体的にどのような遊びをするとその年齢にあった運動遊びが出来るかお伝えさせていただきます。ぜひお声掛けください。</p> <p>○水分補給のサービスがあると助かる。 ・感染症対策が緩和されたといっても、まだ元のように戻るには考え方等個人差があります。いろいろな方が自由に利用できる施設なので、どなたにも気持ちよくご利用していただけたらと考えています。また、最近の物価高騰等で当館は限られた指定管理料で運営させていただいておりますので、新たな出費も難しい点もあります。以上のことから、上記のようなサービスの提供は見合わせたいと思います。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。</p> <p>○先生方が子どもに声かけをしていただけるので、毎回子どもが楽しそうに利用しています。 ・ありがとうございます。楽しい時間を共に過ごさせていただけるよう、今後も努めてまいります。</p> <p><児童></p> <p>○いつも楽しく過ごしています。 ・ありがとうございます。これからも一緒に楽しみましょう。</p> <p>○小さい子の遊び場や道具を増やす。 ・みなさんから見ると小さな子が遊んでいるスペースが狭いように感じたのですね。小さな子たちは、みなさんのように早く走ることジャンプすることもまだまだ難しいです。これから歩けるようになる子もいます。身体や、動く範囲も小さく、できる遊びもみなさんより少ないです。でも、これから少しずつみなさんのようにいろいろできるようになっていきます。楽しみです。そういった理由もあって、みなさんから見ると狭く少ないように感じることも、小さい子たちにとっては十分だったりします。みなさんが、他の子たちのことも気にかけて、こうして書いてくれたこと、とても嬉しかったです。ありがとうございました。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				A
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	S	S	S
		区分評価				S
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	S	S
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	A	A
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>①全体 *今ある現状でよいと思わず、利用者、職員にとってより良い方法があるのでは常に改善していった。 *5月に新型コロナウイルス感染症が第5類と引き下げられたが、引き続き感染対策の徹底を継続した。 猛暑日が続いたため、換気に留意した上で、効率的に室内を冷却するため、換気扇、サーキュレーター、遊戯室には遮光ネットをガラスに張る、また除湿のため氷を設置する等、光熱費を出来るだけ抑えた環境整備を行う。 遊戯室が使用できない時も、使用できるための努力をしていることが利用者にも伝わり、ご理解いただけた。</p> <p>②子育て支援事業 *子育て中の保護者がリフレッシュできる、お子さんも楽しめる環境作りを目指した。 「申し込んで当日のお子さんの状態はどうなるのかわからない」、という保護者に応える行事として、申し込み不要で、期間を数日間に伸ばした『夏祭り』や『パパ大好き月間』、『つくってあそぼう』を開催した。保護者の方にも、参加しやすいと好評であった。 *乳幼児クラブの名前を一新し、より親しみやすいクラブとなるようにした。 また、乳幼児クラブの申し込みの時や自由来館時に手作りおもちゃで親子の時間をより楽しめるよう『つくってあそぼう』を行う。いつでもできる手作りおもちゃを楽しみに来館される親子や、「児童館で製作した手作りおもちゃを家庭でも作ってみたい」と見せてくれるお子さんもいる。 また、子育て中の保護者がリフレッシュできる雑誌を隔月購入し、自由に手に取れるようにした。保護者の方にも喜んでいただけ、保護者同士の情報交換のきっかけになった。 *『水遊び』を開催した。遊ぶ場所に水はけのよいマットを敷き、人数や時間の制限をして安全に遊べるような環境設定を行う。また、熱中症警戒アラート発令時には、親子のふれあい遊びを室内で行う。小学生ボランティアも参加し、十分に距離を保った状態で大型絵本やペープサートの上演を職員と共にを行い、交流を図った。乳幼児は職員だけがみせる時より興味をもって見ている。 *幼児室は乳幼児が手に取っておもちゃで自由に遊べる環境整備を行う。コロナ禍では貸出おもちゃに重点を置いていたが、人気のあるおもちゃや乳児にも安心して遊べるおもちゃについては棚に並べ、幼児向けの細かいおもちゃを中心に貸出おもちゃとした。 利用者が帰られる度にこまめに幼児室のおもちゃを消毒し、感染対策を怠らなかった。 「手に取って遊べる」、「模様替えをして遊びがさらに楽しめる」との声をいただく。 *母親クラブ会長が毎月0歳児対象のクラブで絵本の読み聞かせをしてくださっている。 0歳児を中心ではあるが、兄弟姉妹のいらっしゃる保護者へ未就学児向けの絵本を選んで紹介して下さることもある。今期はそれらの本を紹介するコーナーを設け、月が変わったらファイリングし自由にみられるようにした。 自由来館時に就園児が保護者と掲示等みて話す姿もよくみられる。また、「絵本選びの参考になる」との声をいただいている。</p> <p>③児童健全育成事業 *『なわとびチャレンジ』を年間通して行う行事として設定した。(新規事業) 児童センターとして体力増進を図る役割があるが、近年の感染予防の様々な状況下で 周りに誰もいない一人の時にバランスを崩し転倒する児童が複数あり、当館利用児童にも体力の低下がみられた。 楽しみながら無理なく意欲的に取り組めるよう、なわとびチャレンジを設定した。 中学生が出した前とびの記録に挑戦する他児童だが、なかなか到達できず、年上の児童への憧れや尊敬に似た気持ちが表れている。みなで集まって一つのことに取り組むことはなかなか難しいが、今回なわとびを通してこのような交流がみられた。さらに取り組みが深まるよう働きかけていきたい。 *誰もが気軽に取り組めるよう、『子どもボランティア』の参加を呼びかけた。どんな活動なのか話し、自分の取り組みが何に生かされるのかを説明した。前述の乳幼児親子への上演をはじめ、母親クラブ主催の『音楽まつり』では、小学生がプログラムや看板を書いたり、乳幼児クラブで使用するマカス作り、また 加納西公民館で分けていただいた花を植える等機会を逃さず働きかけていった。</p> <p>④ 地域支援活動事業 母親クラブ会長と密に連携をとり、おたよりの発行、乳幼児クラブの開催、『音楽まつり』や『秋まつり』の開催等、協力して行う。また、地域ボランティアの方々にも行事やクラブのご協力を得て、利用者から「楽しみにしている」等お声をいただいている。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>*子育て支援活動では 予約不要の行事を希望される声があったため、前述の『夏祭り』や『つくってあそぼう』を行う。 *健全育成活動では、『なわとびチャレンジ』をはじめ、昨年度下半期から引き続き 平日のドッジボールや土日祝日の卓球を行う。 図書室では自由に遊べるおもちゃの選定を子どもの意見や姿から行い、わかりやすい環境設定を行う。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>*感染予防対策を引き続き行い、安心して遊んでいただける環境設定を怠らないよう努めていく。 *子育て支援活動においては、保護者の要望を捉えつつ、より楽しんでいただける活動内容を工夫していきたい。 *健全育成活動では、「カロム大会が楽しかった」、「またやって欲しい」という声があがる。おたより掲載に間に合わず、裏メニューとして館内にポスターを掲示する等して呼びかけた。下半期にはドッジボール大会も企画している。子どもたちの意欲が活かされる館を目指していきたい。</p>

●所管課の意見

- 室内環境を見直して整理したり、利用者が参加しやすいように行事を申込制の一日限りのものではなく、自由参加で開催期間を伸ばして開催するなど業務改善や工夫に努めている。
- 室内を効果的に冷却するため、サーキュレーターや遮光ネット等を利用するなど、光熱費等の経費削減に努めている。
- 法人との連絡体制等が整っており、職場環境が整備されている。

●指定管理者評価委員会の意見

所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。